

えんがわ

第48号

2011年3月発行

発行元 衣笠病院グループ
衣笠病院内 須賀市小矢部
2-23-1
TEL 046-852-1182

気になる映画

映画「男はつらいよ」シリーズで有名な山田洋次監督が、今年、監督生活五十年を迎えた。これを記念したプロジェクトの一環として、故小津安二郎監督が昭和二十八年に撮った「東京物語」をベースに新作を作ると発表し、四月から撮影がスタートする予定。

田舎の両親が東京に住む子供たちを訪ねる、というシンプルな物語を現代版にリメイクするそうである。久方振りに逢う子供たちの元気な姿を楽しみに上京する両親と、仕事やプライベートで毎日忙しく充分にもてなす事ができない子供たちとの「心のすれ違い」

が描かれるこの映画、昭和二十八年当時の家族設定と、それから五十八年も経った現代の家族との違いを見比べるだけでもとても興味深いものだ。

山田洋次監督が今年取り上げるテーマは「家族」。五十年間でご自分が監督として関わった八十二作品のひとつひとつにそれぞれの家族の絆があると監督は言う。時代が移り変わっても親の想いと子の思いは擦らない世の中だけど、家族は家族。やっぱり家族が居て自分がある事を改めて考え直してみたい。たまには親孝行しよう。

衣笠病院
事務部長
山本英夫



えんがわ在電 ひとくち 床ずれ

「床ずれを知っていますか？」と聞かれると、「長期間床に臥せているひとななる皮膚疾患」と思われる方が多いのではないのでしょうか？ところが、床ずれはある要因が加わると、なんと、一晩(早いと二時間)で出来てしまう進行の早い皮膚疾患なのです。

床ずれの要因は、「圧迫・ずれ・湿潤・低栄養」の四つが挙げられ、ひとつでも皮膚に加わると床ずれの発症率が高まります。しかし、初期段階で対策をすれば、進行を防ぐことができるのです。

初期段階の見分け方は二通りあります。「赤みの出ている部分を指で押した時、皮膚が白く変色しない」

「圧迫を取り除いて三〇分以上経っても赤みがとれない。この状態が見られたら、床ずれの初期段階と考えて対策をとった方が良いでしょう。対策には四つの要因を改善すべく、「除圧・体位交換・蒸れ対策・高栄養摂取」を行います。

床ずれは、出来てしまうと治るまでに長い時間を要しますので、「発症させないこと」を第一に、快適な環境を提供してあげてください。

衣笠病院ケアセンター
介護支援専門員 脇田直美

一月に衣笠病院にもタイガーマスクがやって来ました。あたたかい気持ちを感じることができるのはいいことですね。もうすぐ春ですが、飲み過ぎのトラ

み過ぎのトラにはならないように注意しましょう。

